

# 環境通信 第2号（9月号）

平成30年9月発行（年4回発行）・発行元：大分市環境対策課・地球温暖化対策おおいた市民会議

## エコな日用品「ミツロウラップ」をご紹介します

毎日の生活の中で、わたしたちが地球温暖化の原因である二酸化炭素を排出していることをご存知ですか？

温暖化の原因となる二酸化炭素は、化石燃料を燃やすときに発生します。例えば「車（ガソリン車）を運転するとき」「家庭や事業所などで出されたゴミを処理するとき」など。ガソリン（化石燃料）を燃料として走る車は、排気口から二酸化炭素を排出していますし、ゴミの焼却にはコークス（化石燃料）などを使用しているため、二酸化炭素が発生しています。ですから、ゴミの量が多くなるほど二酸化炭素の発生も増加します。

ここで、温暖化対策の取組の1つである「ゴミの削減」に注目します。ゴミ削減の代表的な取組に「繰り返し使う（リユース）」がありますが、わたしたちが使う日用品の中には、使い捨てのものが山ほどあります。割り箸、ティッシュペーパー、保存用ラップ、ビニール袋等。この中の「保存用ラップ」に、繰り返し使える「ミツロウラップ」というものがあることを皆さんはご存知でしょうか。ミツロウラップとは、綿の生地に蜜蝋（ミツロウ）などをコーティングしたもので、人の手の温度で蜜蝋を柔らかくし、包装するものの形に合わせて包むことができるため、食品の包装や容器の蓋などに活用できるラップです。

また、汚れたら水で洗って繰り返し使うことができることから、ゴミを減らすことができます。このミツロウラップは、10月に開催します「地球温暖化対策講座」で製作しますので、興味のある方は、是非参加してみてください。詳しい情報につきましては、右面記事に掲載していますのでご覧ください！

## 「うちエコ診断」をご存知ですか？

「うちエコ診断」という言葉を聞いたことがありますか？診断内容は、専用ソフトを使って、ご家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報を入力し、ライフスタイルに合せた無理なくできる省CO2・省エネ対策や、光熱費の削減に効果的な方法などを提案するものです。受診時間は1家庭50分程度で、環境省認定の公的資格である「うちエコ診断士」が行います

また、中小事業所における無料省エネ診断も実施し、省エネ・コスト削減に向けて提案を行っています。県内では、大分県地球温暖化防止活動推進センター（097-574-6139）が、環境省及び大分県から委託され実施しています。受診の流れは右の図をご覧ください（ポータルサイトから受診のお申込みができます）。

なお、うちエコ診断実施機関の申請に係る手数料等の費用は発生しません。



（環境省 HP より抜粋）

## 大分市地球温暖化対策講座を開催します！

大分市地球温暖化対策講座を開催します。前半は地球温暖化についてのお話、後半はエコ製品であるミツロウラップの製作を行います。製作後のミツロウラップは持ち帰ることができ、ご家庭で活用することができます。

（日時）平成30年10月19日（金曜日）、午前10時～正午  
（場所）コンパルホール4階 調理実習室（※調理はしません）  
※ミツロウラップ製作にホットプレートを使用します。

（定員）35名（多数時は抽選）

（参加費）無料

（講師）地球温暖化対策おおいた市民会議委員

（申込方法）電話、ファクス、メールにてお申し込みください。

参加者の住所・氏名・電話番号、講座名を明記し、

環境対策課（〒870-8504 荷揚町2-31、

☎537-5758、FAX538-3302、

メール：kankyotai5@city.oita.oita.jp）へ。

（申込期間）9月18日（火）～10月5日（金）



## 「気候変動適応法」と地球温暖化

平成30年6月6日に「気候変動適応法」が、参院本会議にて全会一致で可決、成立しました。これは、近年、全国各地で起きている気候変動による災害、異常気象、熱中症、感染症の発生や農作物への悪影響が、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがあることを受け、気候変動適応を推進するための措置を講じようとするものです。

そして、この法律において初めて「適応策」が法的に位置付けられています。

次に、最近の気候変動ですが、「西日本豪雨」が皆さんの記憶に新しいかと思います。この「西日本豪雨」は今年7月に、中国・四国地方を中心に、豪雨による河川の氾濫や家屋倒壊等を引き起こし、200人以上の死者を出すなど大きな被害を残しています。

みなさんは、この豪雨の原因に地球温暖化が関係しているのをご存知でしょうか？

わたしたちが、今後も二酸化炭素などの温室効果ガスを多く排出する場合（※）、豪雨と地球温暖化の関係性について、気象庁は「地球温暖化によって、大気に含まれる水蒸気量が増え、100年後の日本の年降水量（雨または雪の量の全国平均）は増加すると考えられる」と予測しています。

※エネルギーのバランスと経済発展を重視しグローバル化が進展する社会を想定

また、気候変動への対策については緩和策と適応策に分かれており、緩和策は、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出を抑制する取組で、日常生活・事業活動におけるエコライフスタイルの提案や環境に優しい交通体系の推進、再生可能エネルギーの促進などが該当します。

一方、適応策は、現状もしくは未来の気候変動の影響に対して、自然や社会のあり方を調整する取組です。

例えば、温暖化が農作物に与える影響の1つとして「高温による米の品質の低下」がありますが、この影響に対する適応策として「水稻の高温体制品種の開発」が行われています。

また、本市においても、こうした気候変動の影響に対して、温室効果ガスの排出の抑制等を行う緩和策だけでなく、すでに現れている影響や、中長期的に避けられない影響に対して適応策を進めることが求められており、次期、大分市地球温暖化対策実行計画において適応策について検討することとしています。

## 市民会議委員の「取組」や「温暖化に対する思い」について紹介します！

氏名 坂井 美穂  
団体名等 日本文理大学  
団体肩書き 工学部 教授



大学では工学部に所属し、情報教育を中心に講義や卒業研究の指導を行っています。一方で中学生の息子を持つ母親でもあることから、環境悪化が及ぼす子ども達の未来への影響を懸念し、自宅での理科実験教室や絵本の読み聞かせボランティアを通じて、子ども達が少しでも環境に興味を持ってもらえるように活動をしています。「できるしこ（精一杯、できる限りの熊本弁です）」をモットーに未来を意識した取組を心がけていきます。

氏名 三股 正幸  
団体名等 大分県弁護士会  
団体肩書き 弁護士



大分県弁護士会の公害対策環境保全委員会に所属しており、毎年、県内外にて公害対策や環境保全についての調査研究を行っています。近年では、島嶼型低炭素社会システム構築を目指す宮古島市を対象に、サトウキビを製糖する過程で出る糖蜜を原料としたバイオエタノールの製造・物流・供給事業の現状と問題点等を調査研究しました。温暖化対策は行政だけの責務ではありません。企業、家庭、行政それぞれが真剣に温暖化に向き合うべき時期が来ていると感じます。

氏名 小野 鶴子  
団体名等 大分市地域婦人団体連合会  
団体肩書き 副会長



私は、未来を担っていく子どもたちに、小さい頃から「今、自分たちが住んでいる地球のためにできること」をわかりやすく解説し、一緒に考え理解を深めていくことを繰り返し行っていくことが大切であると考えており、所属団体で温暖化対策に関わる普及啓発に取り組んでいます。また、その根本に「水を出し放しにしない」「食べ残しをしない」など「もったいない精神」を忘れないことも重要であると考えています。

氏名 細井 利男  
団体名等 NPO法人大分環境カウンセラー協会  
団体肩書き 監事



複数の小学校で環境教育のお手伝いをさせて貰っています。家庭では節電や節水及び車は出来るだけ燃費の小さい軽自動車を使うようにしています。また、最近の酷暑やバケツをひっくり返したような雨の降り方などの異常気象の原因は、地球温暖化にある訳で、このままにしておくと孫の代に大きな負の遺産を残すこととなります。何とかしなければならぬという思いで一杯です。

氏名 井藤 優子  
団体名等 NPO法人九州・自然エネルギー推進ネットワーク  
団体肩書き 事務員



毎年、大分市田ノ浦ビーチで『今日はゆっくり eco がいい×Blue Market』を主催しています。9回目の今年は11月11日(日)に開催！プラスチックの個包装や使い捨てのお皿等を使用しない530(ゴミゼロ)マルシェには約60店が参加。自然素材を使った物作り体験など、子どもさんも1日楽しく遊んで学べるイベントです。ぜひマイバッグ・マイ皿等持参で遊びに来てください。

氏名 大津 悦子  
団体名等 公募委員



地球温暖化対策おいた市民会議に参加して、多くのことを学びました。それぞれの職場や学識経験者の方々からの貴重な研修内容や体験などを拝聴し、とても参考になりました。これからは、家の中にある電気製品（冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコン等）の取扱いや、自家用車の活用について見直しをしていき、大分市より配布された「はじめよう、節電ライフ」のポスターを活用し、もっと皆様方にPRしたいと思います。市民講座の担当者として参加出来たことに感謝します。

氏名 太田 耕作  
団体名等 大分県生活協同組合連合会  
団体肩書き 専務理事



大分県生協連では地域・職域・医療・福祉の分野において12生協が加盟し、地球温暖化防止に向けては、暮らしに身近なCO2削減のために、日本生活協同組合連合会の2030年度を目指す数値目標に合わせて取組を行っています。地域生協では、マイバック持参率の向上、タマゴパック、プラスチックトレイ、ペットボトルキャップ、集品袋・カタログセット、廃油等の回収量の拡大に努めています。地球温暖化防止に役立つ活動を組合員とともに更に積極的に推進します。

氏名 菊池 建次  
団体名等 九州旅客鉄道株式会社大分支社  
団体肩書き 総務企画課 課長代理



鉄道は、エネルギー消費効率が良く、環境への負荷が少ない乗り物です。JR九州では地球温暖化の原因となるCO2の排出量削減に向けて、省エネ型車両の導入を進めています。また、照明や信号機などの設備改良による消費電力の削減、水の再利用、駅ビルにおける自然エネルギーの活用など、さまざまなシーンで環境対策に取り組んでいます。九州の恵まれた自然環境を引き継ぐため、環境負荷の低減に努めてまいります。

委員のみなさん、ありがとうございました。次回は12月の発行です。お楽しみに！